

〔Ⅰ〕 次の文章を読み、設問 1～4 に答えなさい。

西アジアで農耕・牧畜が始まると、それまでの獲得経済から生産経済に移り人口が大幅に増加した。さらに灌漑農業が開始される地域もあらわれ、大河流域^Aに複数の文明が誕生することとなる。文明にはやがて都市が生まれ、政治や商業などの記録を残すために文字も発明された。メソポタミアではハンムラビ王^Bによってハンムラビ法典が發布され法にもとづく統治が行われたが、その碑には 文字で条文が書かれている。古代エジプトでは、墓室や碑にはヒエログリフ（神聖文字）が刻まれ、パピルス紙にはおもにヒエラティック（神官文字）が用いられた。ヒエログリフが解読されるまでには多くの研究者が関わったが、とくにフランスのシャンボリオン^Dによる貢献が大きい。

設問 1 下線部 A に関連して、黄河流域で誕生した殷は、軍事行動などの重要な事柄を占いで決めていた。その記録に使われていた文字の名称を記述解答用紙の所定欄に漢字で記しなさい。

設問 2 下線部 B の王のときに最盛期を迎えた王朝を滅ぼした民族として適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア アムル人 イ ヒッタイト人 ウ カッシート人 エ カナーン人

設問 3 メソポタミア南部地域に最古の都市文明を築き、空欄 文字をつくった民族の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 D に関連して、ヒエログリフの解読において重要な手がかりとなったロゼッタ＝ストーンには 3 種類の文字で碑文が刻まれており、上段にはヒエログリフ、中段にはデモティック（民用文字）が用いられているが、下段に刻まれた文字の種類は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問 1～11 に答えなさい。

中国史には、家族・親族のためではなく、義のために命を捧げるという刺客や侠客がしばしば登場する。西周時代には、王が一族や功臣、土着の首長に邑を分与する や、親族集団内部の尊卑・長幼の序を重んずる が強い影響力をもったが、戦国時代までには、血縁にとらわれずに国をまたいで活躍する「客」が増えた。「士は己を知る者のために死す」との信念を重んずる刺客や、親族・友人の仇討ちを是とする侠客は、権力者に利用されることもあれば、かれらの命をおびやかすこともあった。始皇帝に影響を与えるほどの法の大家だった などは、彼らを否定的に捉えたが、血縁をこえた無差別の愛を説く の思想は、任侠の考え方と相性がよく、民衆のなかにも支持する声は少なくなかった。始皇帝の暗殺を図った荊軻は刺客の代表格で、前漢を建国した も、若いころは侠客として名を馳せた。

義のために尽くす人は漢代にもおり、その気風が濃厚な者は游侠や任侠とよばれ、『史記』^Fの撰者はこれを高く評価した。だが、家族的倫理や国家的秩序を重んずる『漢書』^Gの撰者は、任侠をきびしく指弾した。公的な秩序を重んずる者の目には、任侠の行動はしばしば治安を乱す私的暴力として映ったのである。

儒教の公的地位の高まりとともに、刺客や任侠に対する肯定的評価は低調になった。しかし社会が混乱するたび、民衆は彼らに期待をよせた。また三国時代の をとりまく人間関係は任侠的なところがあり、臣下の諸葛亮との関係性も魅力的だったため、明代^Iにはとくに『三国志演義』が人気を博した。この書物は四大奇書^Jに含まれ、毛沢東や鄧小平^Kも愛読したといわれるほど、その後の中国民衆の精神世界に大きな影響を与えた。任侠を重んずる風潮は明代以後もなくなり、亡国の危機をむかえた清朝でも、 の治世において康有為や梁啓超が変法を試みた時期には、任侠待望論^Mがでてきた。

設問 1 空欄 **A** と **B** に入る語の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 宗法—郡国制
- イ 郡県制—儒教
- ウ 宗法—郡県制
- エ 封建制—宗法

設問 2 空欄 **C** と **D** に入る人物名の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 荀子—韓非子
- イ 商鞅—韓非子
- ウ 韓非子—墨子
- エ 荀子—墨子

設問 3 空欄 **E** に入る人物が生まれるよりも前に活躍した人物をア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア カニシカ王 イ グラックス兄弟 ウ アリストテレス エ ハンニバル

設問 4 下線部 F の人物が生きた時代について、適切でないものをア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 五銖銭が鑄造された。
- イ 南越が滅ぼされた。
- ウ 衛氏朝鮮が滅ぼされた。
- エ 冒頓単于が台頭した。

設問 5 下線部 G の人物の兄弟で、かつ西域都護となって活躍した人物の名前を、記述解答用紙の所定欄に漢字で記しなさい。

設問 6 空欄 **H** に入る人物と対立した魏の初代皇帝の名前を、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 司馬炎 イ 曹丕 ウ 曹操 エ 劉備

設問 7 下線部 I について、次のア～エの記述を古いものから時代順に並べ替え、三番目にくるものをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア マテオ＝リッチが中国でキリスト教を布教した。
- イ 鄭和が海外遠征を行った。
- ウ 都が北平（北京）に遷った。
- エ 王直らが近海を荒らした。

設問 8 下線部 J に含まれない書名を、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 紅樓夢 イ 金瓶梅 ウ 西遊記 エ 水滸伝

設問9 下線部Kの事績について、適切でないものをア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 日中平和友好条約を締結した。
- イ 四人組の失脚後に復権した。
- ウ 改革開放路線を推進した。
- エ 大躍進の失敗後に経済再建を図った。

設問10 空欄 に入る人物の名前を、記述解答用紙の所定欄に漢字で記しなさい。

設問11 下線部Mの議論において、任侠として称賛された人物でないものをア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 田中角栄 イ 吉田松陰 ウ 西郷隆盛 エ 大久保利通

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～7に答えなさい。

中近世のイベリア半島の歴史は、文明の十字路が生み出す宗教間の対立と闘争の歴史といえる。西ローマ帝国の崩壊期に、ゲルマン民族の一つがこの地に移動しキリスト教国家を建てたが、8世紀にはムスリムが侵入してこの地を支配し、^A10世紀にイスラーム国家は最盛期を迎える。一方、西欧で、このイスラーム国家に対抗できたのはオットー朝ドイツのみであった。オットー1世は の戦いでマジャール人を破り、教皇から帝冠を授与され皇帝となり、地中海世界にも勢力を伸ばしたが、このイスラーム国家にも使節を派遣した。

イベリア半島では11世紀以降、「レコンキスタ」が進み、ゲルマン民族の国家の首都であった をムスリムから奪還すると、形勢はキリスト教側の優位となる。その後、15世紀にはカスティリャ王イサベルとアラゴン王 が共同統治者となり、スペイン王国を誕生させ、イベリア半島からムスリム支配を一掃した。16世紀に入るとスペイン王国は、カトリックによる宗教の統一を推し進め、西欧における^E対抗宗教改革の運動も支援したが、この時期にはカトリック復興を目指す^Fイエズス会もスペイン人を中心に創設された。スペイン王国は^Gフェリペ2世の治世に「太陽の沈まぬ帝国」と言われるほど領土を拡大し、征服地には伝道者が派遣され、カトリックが世界に広まった。

設問1 下線部Aの世紀の出来事として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アブド＝アッラフマーン3世がカリフを称した。
- イ メスキータと呼ばれる大モスクがコルドバに作られた。
- ウ 東地中海世界ではアイユーブ朝が勢力を拡大していた。
- エ 東方ではムスリム軍がニハーヴァンドの戦いでササン朝軍を撃破した。

設問2 空欄 に入る名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 空欄 は翻訳学校が作られたことで有名であるが、それに関連して、次のア～エの中から、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アリストテレスの論理学の著作がアラビア語からラテン語に訳された。
- イ コーランの最初のラテン語訳が作られたことで有名である。
- ウ アベラールは、この地でアラビア語とギリシア語を学んだ後、パリに移り、代表作『然りと否』を書いた。
- エ 翻訳者にはアラビア語、ギリシア語、ラテン語に通じていたユダヤ人がいた。

設問 4 空欄 **D** に入る人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E に関連して、次のア～エの中から、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア この改革の一環として教皇グレゴリウス13世は、実際の太陽年とのずれがあるユリウス暦を廃止し、新たにグレゴリウス暦を制定した。
- イ この改革をきっかけに美術・芸術の様式としてバロック様式が生まれた。この様式の宗教画を残した画家としてはスペイン人ムリリョが有名である。
- ウ この改革の時期、日本から派遣された天正遣欧少年使節が教皇グレゴリウス13世と謁見し、日本布教の支援を要請した。
- エ この改革のため、トリエント公会議でカトリックの教義が再確認されたが、プロテスタントとの分裂が決定的になり、その後、ドイツ農民戦争が勃発した。

設問 6 下線部 F の修道会士ではない人物を一人選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア カステイリオーネ イ ラス＝カサス ウ フェルビースト エ マテオ＝リッチ

設問 7 下線部 G の時代に生じた出来事ではないものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ローマ教皇、ヴェネツィアと同盟し、レパントの海戦でオスマン帝国軍を破った。
- イ イタリア戦争の講和条約としてカトー＝カンブレジ条約を結んだ。
- ウ セルバンテスがスペイン文学史上の傑作『ドン＝キホーテ』を刊行した。
- エ スペイン領となったネーデルラントでユトレヒト同盟が結成された。

〔Ⅳ〕 ヨーロッパの科学・文化に関する 1, 2 の文章を読み、設問 1～13 に答えなさい。

1. 英語はインド＝ヨーロッパ語族に属しており、5世紀ごろ大陸ヨーロッパからイギリスに侵入した **B** 人らゲルマン人の言語を起源とするが、11世紀ノルマン朝時代に入るとフランス語の単語を多く借用することになった。14世紀に入るとイギリスは独自の文学者を生み出し、中でも詩人 **E** の作になる『カンタベリー物語』は、カンタベリ詣での一行が旅のつれづれにわかるがわる語る形式をとり、中世英文学の傑作となっている。さらに英語はキリスト教信仰の中でも使われ始める。オクスフォード大学教授 **F** は聖書を唯一の権威とするとともに、その英訳を行った。16世紀以降、英訳聖書が出版され近代英語が広く使われたが、他方トマス＝モアの『ユートピア』、**G** の『新オルガヌム』はいずれもラテン語で著され、ラテン語はなお「知識層の言語」の地位を保ったのである。

設問 1 下線部 A に関連して、インド＝ヨーロッパ語族に属する言語を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ペルシア語 イ ハンガリー語 ウ フィンランド語 エ トルコ語

設問 2 空欄 **B** に当てはまらない語を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア サクソン イ ジュート ウ アングル エ ヴァンダル

設問3 下線部Cに関連して、ノルマン朝時代についての説明でもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 国王ヘンリ3世は貴族の反乱を招いた。
- イ 征服王朝であり、早くから王権が強かった。
- ウ 国王ヘンリ2世は、フランスにも大土地を所有していた。
- エ ウィリアム＝オブ＝オッカムが唯名論を唱えた。

設問4 下線部Dに関連して、14世紀イギリスで起こった事件ではないものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 母がカペー朝出身である、エドワード3世が即位した。
- イ エドワード黒太子が百年戦争に参戦した。
- ウ 模範議会が招集された。
- エ ワット＝タイラーの乱が起こった。

設問5 空欄 に当てはまる人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問6 空欄 に当てはまる人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問7 空欄 に当てはまる人物についての説明で誤りを含むものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 思想的には経験主義の系譜に属する。
- イ 政治家としても大法官の地位まで昇った。
- ウ 収賄罪で弾劾された。
- エ 演繹法に基づく合理主義哲学で知られる。

2. 19世紀のヨーロッパでは科学が急速に発展した。自然科学では、^Hドイツのコッホやフランスのパストゥールらによる細菌学や予防医学の研究によって、近代医学の基礎が確立された。また、 が『種の起源』で提唱した進化論は、人文・社会科学にも影響を及ぼした。さらに、実用的な工業・技術の分野では、化学や通信、交通に関して重要な発明が相次いだ。しかし他方で、科学の発展には自然環境の悪化や人種差別の深刻化、^J非ヨーロッパ地域の植民地化に結びつく側面があったことも、否定できない。

19世紀後半には、列強諸国の都市も大きく成長した。^Kパリや^Lウィーンの都市計画はその先駆的事例である。大都市では、古い街区や城壁が取り壊され、街路が拡張され、衛生的で機能的な家屋が建設されることで、交通網の整備や、感染症の流行の抑制、^M革命や犯罪行為の予防などに繋がった。また、劇場や博物館、美術館、図書館、公園などが拡充されたことで、大衆的な文化・娯楽の萌芽がみえ始めた。その後、ヨーロッパは第一次世界大戦で大きな損害を経験するが、19世紀の文化的遺産が消滅することはなく、様々なかたちで、こんにちの世界文化へと継承されている。

設問8 下線部Hに関連して、19世紀のドイツの思想と文化に関する説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ニーチェは人間存在それ自体に価値を見出し、宗教への回帰を唱えた。
- イ ヘーゲルの唱えた経験論哲学は、マルクスらに影響を与えた。
- ウ ランケは厳密な史料批判に基づく、実証主義的な近代歴史学の基礎をつくった。
- エ リストは自由放任主義を支持して、ドイツ関税同盟の結成を説いた。

設問9 空欄 に当てはまる人名は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問10 下線部Jに関連して、ヨーロッパ各国の植民地獲得についての説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アフリカでの権益拡大を図るイギリスは、スーダンのウラービー運動を制圧して、事実上の保護国とした。
- イ 19世紀末に発生したファショダ事件に際して、フランスは譲歩し、イギリスとの対立問題を解消した。
- ウ ヴィルヘルム2世のもとで帝国主義政策を追求するドイツは、広州湾を租借し、中国への進出を模索した。
- エ アメリカは、民主党のマッキンリー大統領の時にアメリカ＝スペイン（米西）戦争を引き起こした。

設問11 下線部Kに関連して、19世紀後半のフランスに関する出来事を時代順に古いものから正しく並べているのはどれか。適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア パリ＝コミューンの樹立→第二次アヘン戦争（アロー戦争）→ドレフュス事件→ブーランジェ事件
- イ パリ＝コミューンの樹立→第二次アヘン戦争（アロー戦争）→ブーランジェ事件→ドレフュス事件
- ウ 第二次アヘン戦争（アロー戦争）→パリ＝コミューンの樹立→ドレフュス事件→ブーランジェ事件
- エ 第二次アヘン戦争（アロー戦争）→パリ＝コミューンの樹立→ブーランジェ事件→ドレフュス事件

設問12 下線部Lに関連して、ウィーンを首都とする国の19世紀の出来事についての説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1814～15年のウィーン会議で、ロンバルディアを割譲した。
- イ 1859年の戦争でイタリアに敗北し、両シチリア王国を割譲した。
- ウ 1866年の戦争でプロイセンやバイエルンと敵対して、敗北した。
- エ 1878年のベルリン会議で、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの行政権を獲得した。

設問13 下線部Mに関連して、1848年革命についての説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ロシアは軍隊を派遣して、ハンガリー人の民族運動を制圧した。
- イ プロイセンでは革命が失敗し、反動的な「新絶対主義」体制が成立した。
- ウ フランスでは共和政の臨時政府が樹立され、社会主義者のサン＝シモンが入閣した。
- エ イギリスではチャーティスト運動が盛り上がり、穀物法の廃止に繋がった。

〔V〕 次の文章を読み、設問1～6に答えなさい。

宗教の儀礼、都市の祝祭や君主の戴冠などは古来、政治的、宗教的権威の象徴として繰り返し描かれてきた。

図1ではビザンツ帝国の皇帝 の妃テオドラが、ワインの杯を神に捧げている。キリスト教ではワインはキリストの血と考えられ、皇帝夫妻が神によって選ばれたことを示している。このモザイクのある都市は、5世紀には皇帝 の下で、西ローマ帝国の都として栄え、500年前後にはテオドリックの下、 の都であった。6世紀には、ビザンツ帝国の総督府が置かれることになり、支配者が変転した。今もこの町には、5、6世紀のモザイク壁画が多く残っている。

ヴェネツィア共和国の「海との結婚」は、同共和国と海の不可分の結びつき、ひいては海洋国家ヴェネツィアの主権を誇示する祝典で、毎年復活祭にドージェ（総督）が海に指輪を投げこんでいた。この祝祭はイタリアの画家、特にヴェネツィア派の画家たちによって描かれたが、同共和国が政治的にも経済的にも衰退の一途をたどっていた18世紀に華麗さを誇張したものが数多く制作されている。

ダヴィッド作《ナポレオンの戴冠式》は、自ら戴冠した皇帝ナポレオン1世が妻ジョゼフィーヌに戴冠する場面を表し

ている。^E古典主義絵画の威厳をもって、皇帝権の正統性が主張されている。

メキシコ革命下にあったメキシコ壁画運動では、革命の意義やメキシコ人としてのアイデンティティーを民衆にひ
ろく伝えるために公共の場に壁画が制作された。ディエゴ＝リベラが国立宮殿に描いた壮大な壁画《メキシコの歴史》
には、スペイン人による征服、隷従と蜂起、革命の成就などとともに、^Fスペイン人到来以前の宗教儀式が表されている。

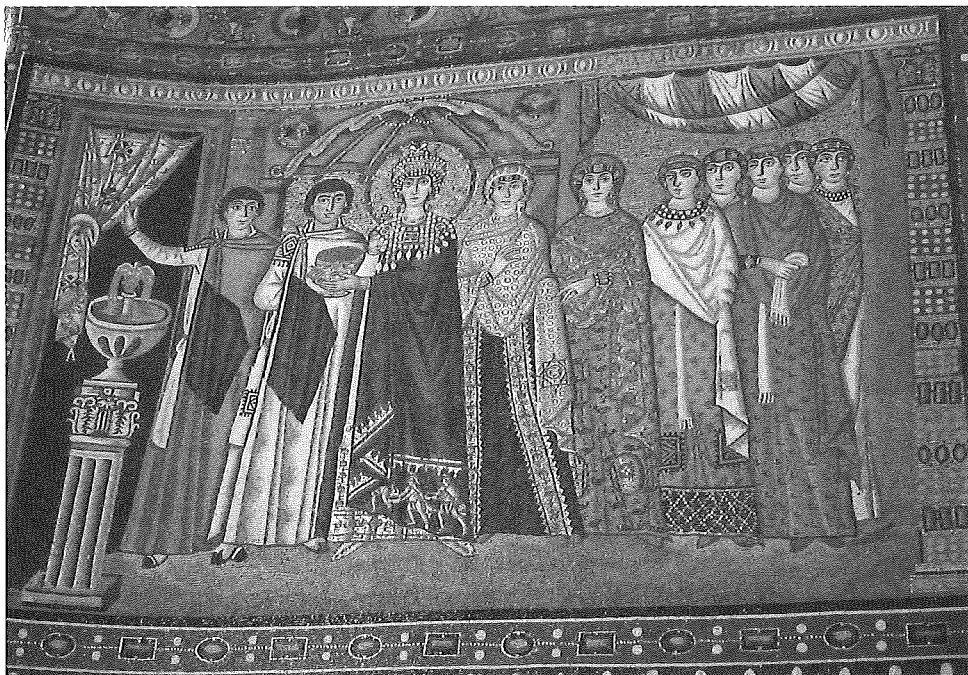


図 1

設問 1 空欄 に入る皇帝の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 空欄 に入る皇帝の名を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア テオドシウス イ オドアケル ウ ホノリウス エ ヘラクレイオス 1 世

設問 3 空欄 に入る国を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

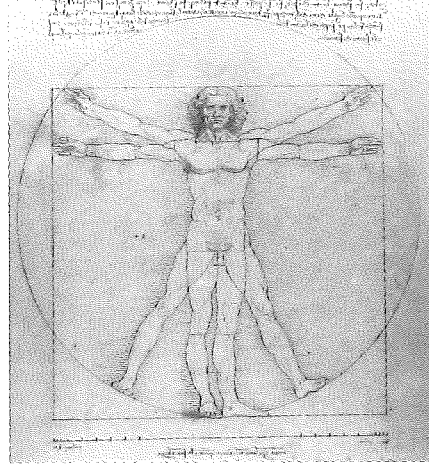
ア フランク王国 イ 東ゴート王国 ウ 西ゴート王国 エ ランゴバルド王国

設問4 下線部Dに関して、イタリアの画家の作品でないものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア



イ



ウ



エ



設問5 下線部Eの説明としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ボッティチェリなどイタリア＝ルネサンスの巨匠たちを規範とした。

イ 18世紀フランスの優美な宮廷美術を規範とした。

ウ ビザンツ美術の洗練や荘厳さを規範とした。

エ 古代ギリシアやローマ美術の均整や格調の高さを規範とした。

設問6 下線部Fに関して、アステカ王国の都としてテスココ湖上に築かれた都市の当時の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔以 下 余 白〕